

13 気候変動に
具体的な対策を



※2

TARGET 13.3



BUILD KNOWLEDGE
AND CAPACITY TO MEET
CLIMATE CHANGE

(どんな
SDGs?)

13.3
気候変動の
正しい知識と
対応能力をみんなに

子どもたちの意識に残る
環境出前講座を

山田: アスエコでは3年目になりま
すが、仕事はどう感じていますか。

山形: 本来が人見知りなので、今
でも講師は緊張しますが、最近少
し落ち着いてできるようになって
きたように感じています。「アスエ
コ」は出前講座やイベントなど対
外的な仕事をする場だと思ってい
たのですが、実際に勤務してみ
ると依頼のあった講座の調整や下
準備、講師の研修など、見えない仕事
が重要なんだと実感しています。

インタビュアー
アスエコ 所長
やまだてつひろ
山田 哲弘 さん

近況

お話を伺ったのは

環境活動推進部

環境学習センター「アスエコ」

やまがた ま ゆ

山形 真由 さん

担当業務: 環境学習出前講座の講師調整

趣味: 読書。有川ひろさんや東野圭吾さんが好きです

インドア派なので家で夫と
大量のぬいぐるみに囲まれて
ごろごろする時が一番幸せです

「ちょっとでも、やろう」の行動変容を、一人でも多くの人に広げて
深刻な温暖化問題の根本解決を、岡山の環境教育から

山田: 仕事のやりがいはいは、どのよ
うに感じていますか。

山形: 講座では、一度きりの時間の
中でいかに子どもたちの心を掴む
か、「コミュニケーションが重要だと
思っています。できるだけ一方的に
話すのではなく問いかける形を作
り、その反応を見ながら進めるよ
うにしています。時間が足りなくな
るほど質問や意見を言ってもらえ
たりすると嬉しくて、やりがいを感じ
ますね。津島小学校で毎年開催
している連続講座では「やまちゃん
先生」と名前を覚えてくれたこと
もとても嬉しかったです。

山田: この仕事と、SDGsとのつな
がりをごどのように感じていますか。

山形: 子どもの頃に学校で聞いた、
氷が溶けて北極のシロクマが困っ
ているという話は、ずっと意識の中
に残っていて、今の私にも影響を与
えていると思うんです。私たちの仕
事とは、そうした話でただ怖がらせ
るのではなく、正しい情報を伝えて
何をしたらいいのか、その選択肢を
一つでも多く伝えることだと思っ
ます。出前講座を通じて子どもた
ちの意識に何か残せるものがある
ば、それがSDGsにつながって
いくことになるのではと。約1億

人いる日本人が出しているCO2
を、一人ひとりが少しずつ減らす
ことが大きな力につながる、そこ
から始まると思うんです。

年々深刻な温暖化問題に、
一人ひとりの少しの行動変容を

山田: なるほど。気候変動の問題
は年々深刻さを増していますが、
今の仕事のごどのようにSDGsに
貢献していると考えますか。

山形: やはり関わっている出前講
座を通じて、少しでも行動を変えて
もらうこと、その積み重ねだと思っ
ます。参加した子どもたちだけでな
く、家庭で「うちはどうなの?」と聞
かれてドキッとされる家族もいて
くれるかもしれません。日常の
「ちょっとくらいいいか」を「ちょ
っとでもやろう」に変える、それをみ
んなですれば、日本中で大きな力に
なっていくと思うんです。

山田: そうですね。こうした目標
のためにどんなことを進めていき
たいですか。

山形: 昨年実施した出前講座は
377件あり、依頼は年々増加してい
ますが、まだまだ広がっていきたく
いですし、講師の方々も充実させて
いかなければと思っています。

例えば温暖化問題、気候変動に
ついての講座でも、参加者に伝える
知識や推進したい行動や取り組み
は年々変化しており、講師は常に
最新の情報をアップデートした
上で具体的に伝えていかなければ
いけません。そうした学びを深め
るための環境も充実させていきたく
いです。もう一つ、せっかく子ども
たちの中にSDGsへの関心が
高まって、学生時代に積極的に活
動していても、就職を機に途切れ
てしまう人がいると思うんです。

そうした人に続けて参加してもら
えるように、企業ぐるみで環境
学習を取り入れたり、活動に参画
できるように考えていけたらいい
なと思っています。



岡山市立津島小学校で毎年開催されている計4回の
連続プログラム。やまちゃん先生として慕われる存在

環境保全事業団のホームページはこちらです
詳しくは下記QRコードからご覧ください



※2 ターゲットのアイコン解説は、SDGs169ターゲットアイコン日本版制作委員会作成のものを参考にしています。